

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム小牧白寿苑

目標達成計画

作成日: 令和 2年 12月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	コロナ禍において、利用者は家族との面会が出来ず、精神的に落ち込まれている。	電話にて家族と会話を楽しんでいただく。	利用者の様子を、引受人に対して電話にて定期的に報告する。その際、本人と話していただく。	12ヶ月
2	19 49	コロナ禍において、利用者は外出することが出来ず、帰宅願望が現れたり、不穏になる。	各ユニットでの行事やレクリエーション活動を計画し、利用者の気分転換を図る。また、屋上へ行って散歩をしながら、外気を感じていただく。	季節にあった行事の充実や、おやつ作りなどのレクリエーションを実施する。また、利用者を屋上へ誘導し、外出した雰囲気を感じていただく。	12ヶ月
3	44	屋内で過ごす時間が増え、筋力が低下する。	毎日の体操を実施する。	口腔ケア体操、ごぼう先生体操、ラジオ体操など飽きない工夫を行い、工夫をしながら楽しく取り組んでいただく。	12ヶ月
4	18 29 48	コロナ禍においてボランティアや介護相談員など、外部との接触がない。	職員と利用者がいっしょに楽しめる企画を実現する。	職員による出し物を披露したり、担当職員以外が訪室し、お困りごとがないか声をかける。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。